

令和5年度母子保健講習会開催要綱

1. 趣 旨：少子化が進展する現状を踏まえ、地域医療の一環として行う母子保健活動を円滑に実践するために必要な知識を修得する。
2. 主 催：日本医師会
3. 開催日：令和6年2月18日（日）
4. 内 容：プログラムのとおり
5. 会 場：日本医師会館大講堂
〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16

※新型コロナウイルス感染症の感染状況により、開催形式を変更させていただく場合もございますこと、予めお含みおきいただきますようお願い申し上げます。

6. 参加者：日本医師会・都道府県医師会・郡市区医師会会員
7. 申込締切：令和6年2月5日（月）
※定員（300名）になり次第終了
8. 参加費：無料
9. 申込方法：日本医師会ホームページより受講者が個別に申込み
日本医師会ホームページ「医師のみなさまへ」→「研修・ワークショップ・講習会を見る」→
「令和5年度母子保健講習会」へアクセス
URL：https://www.med.or.jp/doctor/work/traning_workshop/001463.html
10. 研修証明について：日本医師会生涯教育制度の単位（CC0その他3単位）は「全国医師会研修管理システム」に自動的に登録します。
11. 問合せ先：日本医師会健康医療第二課 03-3942-8181（直通）
メールアドレス k2@po.med.or.jp

令和5年度母子保健講習会プログラム

日時：令和6年2月18日(日)12:30~16:00

場所：日本医師会 大講堂

時間配分	内容
12:30	1. 開会 濱口 欣也（日本医師会常任理事）
12:30~12:35	2. 挨拶 松本 吉郎（日本医師会会長）
	3. シンポジウム
	<u>テーマ：産婦人科・小児科・精神科の顔の見える有機的な連携について</u>
	座長：福田 稠（日本医師会母子保健検討委員会委員長） 三牧 正和（日本医師会母子保健検討委員会副委員長）
12:35~13:10	1) 地域における連携体制の取り組みについて（仮題） ①産婦人科の立場から（仮題）（35分） 相良洋子（日本産婦人科医会常務理事/さがらレディスクリニック院長）
13:10~13:45	②小児科の立場から（仮題）（35分） 小枝達也（国立成育医療研究センター副院長、小児内科系専門診療部統括部長）
13:45~14:20	③精神科の立場から（仮題）（35分） 菊地紗耶（東北大学病院 精神科）
14:20~14:50	2)母子保健情報のデジタル化について（仮題）（30分） 小林 徹（国立成育医療研究センター臨床研究センターデータサイエンス部門 部門長）
14:50~15:20	3)「最近の母子保健行政の動き」（仮題）（30分） 木庭 愛（こども家庭庁成育局母子保健課長）
15:20~15:30	（休憩）（10分）
15:30~16:00	4. 討議（30分）
16:00	5. 閉会